

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画 竹野地域 住民向け説明会

意見・アンケート結果等（竹野会場）

- 開催日 2022年8月26日（金）19:00～20:50
- 会場 市役所竹野庁舎 大会議室
- 出席者 参加者 39名
市 10名（教育委員会、公共施設マネジメント推進室、竹野振興局）
- 意見交換（要旨）

意見・質問	回答
<p>特色を生かしたカリキュラムができるとの説明で、例として ICT、英語などがあげられたが、竹野に住んでいる者として、竹野と ICT や英語は結び付かない。</p> <p>そこで2点質問だが、竹野の特色とは何と考えているか。</p> <p>次に、施設一体型小中一貫校の一般的な課題ではなく、竹野の小学生・中学生についての課題は何であると考えているか。</p>	<p>竹野の特色については、こちらからこれだということではなく、それぞれの学校や地域の方が、どのような子どもを育てたいのか、その目的のために、地域にある素材や人材を生かしていくことによって、それが竹野の特色になると考えている。</p> <p>まずは、地域の子どもたちをどのように育てたいのかを、一緒に考えていきたい。</p> <p>施設一体型小中一貫校の課題については、先ほどの説明でもあった人間関係の固定化という部分については、竹野にも当てはまると考えている。</p> <p>その他、学校や地域の特有の課題等も出てくると思うが、小中一貫校を検討する委員会の中などで、地域の方から意見を聞き、課題の抽出や解消方法の検討についても一緒に行っていく必要があると考えている。</p> <p>そのなかでも、固有の課題として、通学距離の問題がある。小中の授業時間の違いや登下校の時間といった課題もある中で、登下校のバスの乗車時間をいかに短くするかも考えていかなければならない。</p>
<p>竹野の特色、文化や習慣等を把握したうえでこの計画を進めているものと思った。検討委員会で検討ということだが、そこでの意見はどの程度、教育のカリキュラムに反映されるのか。</p>	<p>私たちが、竹野のことを隅から隅まで把握しているものではない。当然、地域の方や子どもたちを目の前でみている学校の声を聞きながらやっていくので、いただいた意見についてかなりの部分について参考にさせていただく。そこ（検討委員会）で作り上げるぐらいの勢いでやっていきたいと思う。</p> <p>竹野の特徴について、山や海等の地形的・地質的特徴もあるが、先ほどあげた ICT や英語というものは、小中一貫校とすることで最も効果がありそうなものとして、先進事例から紹介したものである。検討委員会の中でそれをやっていこうとなれば、それを進めていく。</p> <p>地域で、他のものが良いとのことであれば、それをやっていく。</p>

意見・質問	回 答
	<p>課題については、統合して2校の小規模校から来た子どもたちと、もともとの竹野小の子どもたちとの差が出てこないか、依存性や自分たちの気持ちを表に出すこと、中学校のお兄さん・お姉さんと一緒に活動することへの抵抗感があるかもしれない、そういうことも気にしなければならない。その部分は課題だと思う。</p> <p>これから（統合して）5年・6年経てば解消できる問題かもしれないが、今考えられるもの、気になることとしてあげられるのではないかと思う。</p>
<p>小中一貫の計画は非常に良いものだと考えている。ただ、子どもの数が減っていく中、仮にこの施設ができたとして何年ぐらい学校を維持できる想定なのか。</p> <p>竹野中学校の敷地に小学校を持っていくということとして計画が進んでいるのか。</p>	<p>子どもたちの数をみていると、今後も減っていくものと考えている。しかし、立地条件、とくに通学のことを考えると、例えば城崎や豊岡の学校との統合については難しいと考える。</p> <p>施設一体型とし、子どもたちにとってより良い環境として当面の間維持していきたい。</p> <p>以前には現在の竹野小敷地での建替えも案としてはあったが、審議会の中で施設一体型とすることでより良い教育が可能となる。また、竹野中学校については併設できるだけの十分な敷地があること等から、何度も説明会を行い、地域の方からも意見を聞いたうえで、現在の計画としたものである。</p>
<p>もう少し学校を南の方面にという考え方はないか？</p>	<p>別の場所に小中一貫校を整備すると、場所の検討や用地取得が必要となり大変な時間を要する。</p> <p>また、大勢の人数がバスで移動することになると、新たな課題も生じる。</p> <p>小学校の建て替えについてはなるべく早くと考えており、現在ある中学校を有効活用することとしている。</p>
<p>先ほど、特色のあるカリキュラムという話が出たが、そのカリキュラムに賛同された方については、他地域からでも学校に通えるのか。</p>	<p>校区については指定をしているため、竹野地域の子どものみ通える。</p> <p>校区外からは考えていない。</p>
<p>他の学校とのばらつきは出ないのか。</p>	<p>どの小中学校も、このとり、産業文化、ジオパークについては共通した教材として扱っている。</p> <p>特色のあるカリキュラムとして地域教材を取り扱うのであれば、プラスアルファとして竹野独自のものになる。この部分については、他の学校では勉強しないため、差が生じることとなる。</p>
<p>竹野小学校と中学校で、施設一体型小中一貫校とする場合、同規模なのはまず港、城崎、日高西、但東がある。竹野はモデルケースにな</p>	<p>施設一体型小中一貫校については、竹野の他には但東についても対象としている。</p> <p>その他については、審議会の中で、港小と城</p>

意見・質問	回 答
<p>るのかと思う。学校の老朽化の問題もあるのは理解できるが、他でもこれを進めていくのか。</p> <p>意見だが、検討委員会で課題を検討するのは課題の先送りではないか。小中一貫校のデメリットをはっきりと出してほしい。</p> <p>もう一つ、「たけの科」とか「ふるさと科」と言われるが、今、跡地になっている中竹野小学校、竹野南小学校についての現状はどうか。碑のある部分は草が生い茂っている。このような状況でふるさとを語るのはどうかと思う。</p> <p>中竹野にも竹野南にもすばらしい文化・歴史がある。そういうところも調整していく必要があるのではないか。</p> <p>あわせて、避難所の話も出た。</p> <p>昨年、秋季市政懇談会の中で、防災監から、津波の場合はジャジャ山に登れと言われた。私はその時に、「80、90歳の人々が山に登るのか」と質問した。</p> <p>跡地の問題は教育委員会でも検討し、利活用については、先送りするのではなく、具体的に検討してもらいたい。</p>	<p>崎小、港中と城崎中の統合について、小中一貫校に出来ないかとの意見があったが、計画では明確にはしていない。</p> <p>今後、具体的に検討をしていく中で、地域の意見を聞きながら、可能性について協議をしていくことになる。</p> <p>(意見については、進めていくうえでの参考とさせていただきます)</p>
<p>小中一貫のカリキュラムにしても跡地利用についても、現時点では可能性ということであって、具体的な話にはなっていないと思う。</p> <p>小中一貫校検討委員会を設置して具体的に検討を行うとのことだが、委員会はどのようなメンバーで構成されるのか、また、希望者は参加できるのか。</p>	<p>検討委員会の組織について、まだ、人数までは考えていないが、構成メンバーとしては、地域の代表、PTAの保護者代表、未就学児の保護者の代表、その他、学校の先生など、いろいろな方に入っていただきたいと考えている。</p>
<p>広く特色等を聞くということであったので、今のメンバーだと人数が限られているのではないか。</p> <p>私たちも具体的に聞いていきたいし、保護者のいろいろな声を聞いた方がより良いものができるのではないか。</p> <p>他のメンバーを広く募るといことはしないのか。</p>	<p>PTAの保護者といっても1人だけではなく複数人を考えているが、具体的には今後検討する。</p>
<p>できればもっと広くとっていただきたいと要望させていただく。</p>	<p>例えば竹野地域の小学校の統合準備委員会では24名の方に入っていただいた。基本的にはそのくらいの人数構成になるかと考えている。</p> <p>PTAだけではなく、未就学の子どもがおられる方や、子どもはまだこれからという方にも入っていただければと思う。</p>
<p>次に、施設一体型小中一貫校については、なかなか珍しい取組であり、今後課題も出てく</p>	<p>実施してからの効果測定については、必要なことである。</p>

意見・質問	回 答
<p>るのではないかと思うが、開校後にも、学校だけでなく、こういった機会を持って地域と一緒に考えるという姿勢はあるのか。</p>	<p>学校運営協議会(コミュニティスクール)という制度があり、これは合議制で、教育方針についても意見が言える、そこで決めるという会である。</p> <p>現在、モデル校として竹野中で行っているが、ここ2年間、コロナで満足な活動ができていないのが実情である。施設一体型小中一貫校ではコミュニティスクールを作り、地域の方や保護者、就学前の方にも入っていただく。その中で課題や効果を共有していき、必要であればこのような会で地域の方にもお伝えをしていきたい。</p> <p>施設一体型小中一貫校ができたから良いのではなく、更新型で行う必要がある。カリキュラムとして一旦は決定するが、良くない部分、子どもたちに合っていない部分、もっとこうしたらという部分があれば更新していくので、意見を聞かせてもらうことは必要だと考えている。</p>
<p>中町に住んでいるが、子どもたちが本当に少なくなってしまった。</p> <p>子どもたちがどんどん少なくなっていく中で、施設一体型小中一貫校は当然検討していくべきであろうと思う。</p> <p>今日の資料にある、「小中学校適正規模・適正配置計画」についてだが、文部科学省でも適正規模・適正配置という言葉を使っているが、豊岡市が考えている適正とは何かを説明されれば理解がしやすい。</p> <p>もう一つ、小中一貫校でできること、施設一体型にしなければならないことはなにか。</p> <p>今日の説明では、施設一体型を前提とした説明であったように思う。</p> <p>施設一体型ありきとして今後検討が進められていくのか、それとも、施設一体型の課題もいろいろあるなかで、たとえば、小中一貫校として進め、次の段階として施設一体型ということもありえるのか。</p>	<p>国では、クラス替えができる程度が適正規模としているが、豊岡の場合は、仮に統合したとしてもクラス替えができる規模とするのは難しい学校が多い。したがって、市として、望ましい学校規模は国と同様、クラス替えができる程度とするなかで、独自に最低限確保したい規模という項目を設け、1学年1学級以上、複式学級が生じない程度としている。そのうえで、各学年で、多様な意見に触れられるよう、可能であれば複数のグループが組める1学年20人程度を確保したいと考えている。</p> <p>計画では、基本的には旧町単位に小学校・中学校をひとつは存続させるとしている。</p> <p>通学時間をみても、バス通学で1時間以上かかるような広範囲での統合は行うべきではないとの考えから、このようにしている。</p> <p>もう一点、小中一貫校についてだが、審議会の中で議論され、また、地域説明会でも多くの意見をいただく中で、竹野については施設一体型小中一貫校とするという計画とした。</p> <p>小中一貫校でできるもの、施設一体にしなければならないことについてだが、小中一貫教育については、現在、市でも取り組んでおり、別々の場所でも可能だが、これを同じ敷地内に置くことにより、子どもたちの交流が日常的にできる、先生の乗り入れ授業ができるという大きなメリットがある。</p> <p>先生にとっても、子どもの事実が目の前で見ることができる。</p>

意見・質問	回 答
	<p>効果があるのかどうか、離れていてはなかなか見えてこない。現在、小中一貫教育の成果はアンケートでしか見えていないので、そのあたりも確実に、子どもの事実を添いながらの教育が可能となる。</p>
<p>適正規模については、数のうえでは複式学級にならない程度ということだが、今後、子どもが40人も50人も増えないことから、いかに効果的に教育を行っていくか、視点をしっかりと持っていただきたい。</p> <p>それから、施設一体型というものはイメージするのが非常に難しい。運動場や体育館の使い方、階段の段差の高さの問題もある。いろいろな基準があるなかで、違うものが一緒になる。とりわけ小1と中3が一緒に学ぶ、一緒に過ごすことによる問題・課題が多く出てくるのではないかと不安がある。</p> <p>施設一体型を前提として議論していくということだが、今後は、もう少しイメージしやすい説明・提案をされれば、よりわかりやすく、意見や質問も出しやすいのではないかと思う。</p> <p>授業時間が違ってチャイムがずれて鳴るということもある。そういったことも含めて、皆でしっかりとイメージを持ったうえで施設一体型の教育をこんなふうにつけていくのだと、順を踏んで進めていただきたい。</p>	<p>(意見については、進めていくうえでの参考とさせていただきます)</p>
<p>特色を生かしたカリキュラムということだが、ふるさと教育について、今の小学校、中学校でもやっていることではあるが、今のやり方についても改善の余地はあると思っている。実際に受けている方や保護者の意見を聞きながら進めていった方が良いのではないか。</p> <p>もっともっと、学校が町に出ていった方が良いのではないかと感じる。</p> <p>今後、広く意見を取り入れていただければと思う。</p> <p>もう一点、今の小学校の位置は町のど真ん中で良い場所だと思う。耐震工事も施されたと聞いている。今の場所に中学校を持つてくるという案はないのか。</p>	<p>今の小学校では、施設一体型の敷地として全く面積が足りない。仮に小学校のみ建て替えを行う場合でも、工事期間中、仮設校舎を建てるため等で運動場が全く使えなくなってしまう。</p> <p>中学校には、施設一体型にできるだけ敷地が既にあることから、今回の計画としている。</p>
<p>地域と関わるという意味でも、今の中学校だと、町の端側にあって様子がわからない。中竹野地区・竹野南地区の方からすると尚更だと思う。</p> <p>もっと風通しの良い、学校が町に出かけていくような、町とつながっているようなカリ</p>	<p>開かれた教育課程とあって、地域と一緒にになって学校を作っていくという考えであり、大賛成である。</p> <p>竹野中学校でも、いろいろな人が来てくれるようにと、昨年からは、様々な試みをしている。コロナのためになかなか難しいかもしれ</p>

意見・質問	回 答
<p>キュラムなり工夫が必要だと感じている。</p>	<p>ないが、機会があれば皆さんも、学校でどのようなことをしているのか、子どもたちの様子はどうかと、竹野中学校に足を運んでみていただければと思う。</p> <p>意見として、今後の参考にさせていただく。</p>
<p>半年ぐらい前に移住してきたが、少子化で今後、子どもは絶対に増えないという前提で話をされているが、施設一体型となり魅力的な教育を行うことで移住者が増えるという想定は一切ないのか。</p> <p>また、他の人に聞くと、施設一体型の案は微妙な案だと言っていたがどうか。</p>	<p>審議会の中でも、施設一体型として市外の方から興味を持たれるような教育ができると良いという意見はいただいた。</p> <p>市としてもそういった観点で、教育内容等について検討していくが、それによって移住者が増えるとはまでは言い切れるものではないことは理解いただきたい。</p> <p>案について微妙というご意見もいただいたが、今後、具体的な内容について協議を進めていき、そのうえで、メリットやデメリットなどお伝えし、また、一緒に考えていきながら、施設一体型となって良かったと言っていたできるようにしていきたい。</p>
<p>この件について、子どもはどう思っているのか。</p> <p>総合学習等の時間で、子どもとの意見交換等はしていないのか。</p>	<p>子どもの意見についてはまだ聞いていない。</p>
<p>地区の代表としての願いだが、学校施設として、教育面については話にあったとおりで、学校が地域の中でどのような役割を果たしているのかという話は一切触れられていない。</p> <p>学校は教育の場であるが、地域の交流の場であり、防災の避難場所という機能もある。</p> <p>施設一体型小中一貫校になり、学校が（現在地から）無くなるということには危惧している。その一方で施設一体型小中一貫校については良いことだと感じている。</p> <p>今日は、公共施設マネジメント推進室の方が来られているが、B&Gも2025年に無くなる。これは文化・スポーツ振興課が担当である。</p> <p>地域デザイン懇談会でも防災機能の意見も出ていたかと思う。</p> <p>今後の説明の際には、防災とか、こういった部分についても触れてほしい。</p>	<p>地域デザイン懇談会の中では、公共施設について自由に意見を出してもらう形で話し合いをしていただいた。</p> <p>防災拠点としての機能についても意見もいただいたが、そのためだけの施設を保有しつづけていくのかという課題もある。</p> <p>今後、学校跡地をどう活用するかについては、改めて、地域の方の話を聞きながら、検討していくこととなる。</p> <p>施設は減らしても、必要な機能は残していく、それをどこで求めるのか等、地域の皆さんと相談しながら決めていきたいと考えている。</p>
<p>施設一体型小中一貫校について、小学校と中学校が一緒に過ごすことになる9年の間にはいろいろなことが考えられるのではないのか。例えば、人間関係がうまくいかないとか、近中など他の学校を進学先に選ぶなどもあると思う。</p> <p>仮に4-3-2制とした場合、小学校から中学</p>	<p>9年制についてだが、小学校と中学校が同じ敷地内にある小中一貫校は、6年生が終われば小学校の課程が終わり、中学校にあがり3年間となる。</p> <p>4-3-2制の場合、学校の中では4年生までを一区切りに考える。次は3年、2年となるが、これは運用上のことである。</p>

意見・質問	回 答
<p>校に上がるというタイミングではなくなるので、そういう選択ができなくなるのか。</p> <p>また、例えば 4-3-2 制が上手くいかなかった場合、6-3 制に戻すことがあるのか、それとも竹野は 4-3-2 でやっていかなければならなくなるのか。</p> <p>次に、施設一体型について、これまで保護者や住民に意見を聞かれてきたかと思うが、現場で働かれている学校の先生はどのような意見を持っておられるのか。</p> <p>小学校への乗り入れ授業をされるのであれば、それで教員を減らしていくという考えなのか、これまでと同じ人数あるいはこれまでよりも充実した人数となるのか。</p>	<p>これが義務教育学校になると、前期課程と後期課程にわかれて、前期課程では小学校の部分の学び、後期課程では中学校の部分の学びとなる、9年制といっても今の小学校と中学校の教育課程について行うので、小学校が終わって私立の中学校に行くということも可能である。また、転校についても可能である。</p> <p>4-3-2 の運用が上手くいかなかった場合のお尋ねだが、これから導入するものであり、上手くいかない部分が出てくることも考えられるが、改善しながら進めていきたい。とくに3の部分(小5～中1)については、中1ギャップの解消のため、工夫をしながら進めていきたい。</p> <p>もし仮に、課題の方が大きいと判断した場合には6-3に戻す検討をすることもある。</p> <p>教員の数については、減るということはない。あくまでも小学校での教員の数、中学校での教員の数を確保する。その中で、小学校への乗り入れ、中学校への乗り入れをする教員がいるという事である。</p> <p>学校の教員については、ずっと情報交換をしており、理解いただいている。また、不安や課題についても聞いている。</p>
<p>質問ではなくお願いだが、施設一体型小中一貫校になったとして、今の小学校の跡地について、先ほど住民の方と話をしてと言われたが、旧中学校が今の中学校に変わった時に、「中学校の跡地を考える会」のような委員会が立ち上がって、跡地で何ができるかを考えてきたが、結局何もなくて、現在のように草が覆い茂った状態となっている。</p> <p>小学校については、移転とともに跡地をどういうしていくか、同時進行で考えてほしい。</p> <p>町の真ん中が旧中学校の跡地のように草むらになってしまうのでは困る。</p> <p>小学校があれば私たちも小さな子どもを連れて遊ばせにいたりもできるが、それが無くなると、竹野には子どもをつれて遊ばせるところが無くなる。</p> <p>そういったことも含め、後から考えますではなく、同時に考えてほしい。</p> <p>B&Gも4年後くらいに無くなる、ふれあい会館も老朽化している、私たち高齢者は、今、ふれあい会館でお世話になっているが、そういう施設も無くなっていくのであれば、(竹野小跡地に) B&Gとか、そういう建物を建て</p>	<p>竹野南小や中竹野小など、今までも学校跡地の活用については、地域の方々と、どういった形がいいのか、相談をしながら進めてきている。</p> <p>基本的にはまず、市の他の目的での公共施設として使う可能性について、しっかりと検討させていただく。</p> <p>その中で、仮に市の公共施設としての利用は無い、公共的な団体等でも利用が無いとなると、最終的には、現在、竹野南小で進めているように、民間で活用していただけるのであれば手をあげていただく。</p> <p>その中で、先ほどの意見であったような防災の避難所としての使用が可能か、社会体育施設のような使用が可能かといった提案募集もしている。</p> <p>竹野小学校について、仮に跡地となった場合、どう活用するのかについては、市としての他の利用方法があるのかについて、しっかりと検討させていただき、その後、地域の皆さんと使い方についての相談もさせていただく。その結果、やはり(市や地域で)使うのは難し</p>

意見・質問	回 答
<p>ていただいて、高齢者も活動できる施設も検討して欲しい。</p> <p>私たちの世代も増えてくるので、そういう場所を確保してほしい。</p>	<p>い、民間で良い案はないのかということになれば、先ほど地域デザイン懇談会であったようなB & Gの可能性の検討や、防災の避難所としての可能性も含めて、しっかりと検討させていただく。</p> <p>跡地を草むらにしないように、そこは一緒に検討させていただきたいと考えている。</p>

■アンケートでの意見（全件分）

- 施設一体型小中一貫校で早く進めてほしい。
- 義務教育学校の方向で賛成します。
今後さらに子どもの数が減って、複式学級が生じてくれば再度の統合があるのか？
- 竹野小学校の現在地での建替えを望んでいたが、施設一体型で義務教育学校 4-3-2 制は理解できたし、面白い制度だと感じた。
町域、竹野町全体の意見をまとめることは大変難しいと思う。竹野南地区、中竹野地区、竹野地区の住民の竹野の見方、見え方に温度差がある。
- 大いに賛成だが、小中学生がどう思っているのか意見を聞いてもらいたい。あわせて、各学年代表者に説明会に出席させていただきたい。
- 賛成ではありますが、子どもたちだけとか学校だけのことで考えるのではなく、竹野の町全体を見ながら、町の中の子どもたち、町の中の学校、常にそのような目で見、考へて、地域で子どもを育てる、学校だけで動くのではなく、町づくりをしていく中で、子どもたちを育てていく、そのようにあってほしいと思います。
- 施設一体型小中一貫校について、子どもの逃げ場、進路、選択肢が減らないのであれば問題ないと思っています。
跡地利用については、ただの空き地にならないようにしてほしい。
- 施設一体型一貫校の良い所、課題を共有しながら進めていただくことを希望します。
- 検討委員会は役職で選ぶのではなく、熱意ややる気のある地域の人も入れて会を作った方がいいと思います。
スケジュールに無理がある。今日だけでいろいろな意見がでてくる。もっと丁寧な説明して、地域の人ができるまでやった方がいい。途中で区切るほど質問や意見があるので、説明会や意見交換会をもっと開催してほしい。
- 町の特性をよく学べる、地域愛を主体性を持って育てる教育を進めてください。参加していきたいです。
- お願いが2つあります。
①よりよい一貫校にしていくためにも、検討委員会のメンバーを広く募ってください。
また、当事者である子どもたちとも、考える場を作ってほしいです。（非認知能力の育成にもつながると思います）
②竹野小学校の跡地利用は、同時検討課題だと思います。「命を守る」場所でもあるので、B & G・地域交流機能を持たせる方針でぜひ進めていただきたいと思います。
- 大人の意見はもちろん大事です。でも、きちんと子どもの声も聞いてほしいです。小学校のあと、小さい子どもが遊べるよう、遊具を（ふやす）残したりしてほしい。
- 一貫校とされるのは同意できますが、施設一体型とするのは、今の小学校はいかがされるのか、具体案を示してほしい。
- 「特色を生かしたカリキュラムはほとんど〇（まる）で検討できる」とのことでしたが、他校と全く違うカリキュラムは基準はあれど教職員の皆さんの負担に相当なりそうですが大丈夫でしょうか。また、教職員の皆さんの各々の熱量で質がかなり変わりそうです。

がいかかでしょうか。公立の先生方は必ず異動がありますので、少し気になりました。

- 「ゆとり教育」のように失敗だったと判断された場合はどう対応されるのか？ゆとり教育世代としては不安が残る。

子どもの意見や考えは無視しているように感じる。通うのは子どもたちであって大人ではないので、しっかりと意見・考えを聞いていく必要があるのではないか。他人の子どもをラットだと思っているのでは？と感じる。

施設一体型を優先するより、教育内容をより豊かにして人口を増やすことを目指すべきでは？文教地区にして魅力が増せば人口増を目指せるのでは？そこまで考えてから施設のことを考え始めるのがスジではないか。

- この先の子どもの数を見ていると、小中一貫校にし、集団規模を確保していくことには理解できます。しかし、現竹野小学校は避難場所であり、休日は子どもたちの遊び場であったり、「学校」としてだけでなく「地域」の財産でもあります。それが移転してしまうと、大きな財産を失い、竹野の魅力が無くなります。移転した場合の跡地の活用も早急に検討していただき、方向性を示していただきたい。今後の保護者代表、地域代表との協議の場で跡地の活用も含めて検討してほしい。（跡地活用と同時進行で！）

小中一貫校になったはいいが、竹野小跡地が更地になることのないように地域の跡地活用の要望は優先的に実現していただきたい。

この件については、「教育の場」としての議論ではなく、地域全体のこととしていただきたい。

- 竹小は現在の所が良いと思っていますが、小中一貫校を考えての説明のように聞こえました。

他の学校の活用がなされていないので現小学校の活用を考えてほしい。

民間でなく市の方で実行してください！

- 放課後児童クラブが運動場や体育館で今はのびのびと遊んでいます。施設一体型の学校になると、中学校の部活動により、遊べなくなるのではと心配しています。ぜひ、のびのびと遊ぶスペースの確保をお願いします。

- 子どもたちが竹野に住み残るような地域づくりもあわせて計画を進めてほしい。

竹野の経済圏は旧豊岡市内ではないでしょうね。不便な所からは人は居なくなる。

- 場所の再検討をお願いしたいです。小さい子（低学年）がバスに乗っている時間が苦痛と（言っている）いうのをよく聞きます。

- 何よりも先生を知りません。全く顔が見えません。どうなっているのでしょうか？

地域一体との説明だが、先生の顔もわからないのに、地域に根ざした教育が展開できるのだろうか。

■ 教育長あいさつ

皆さんこんばんは、お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。

コロナがなかなか収束しません。子どもたちは夏休みに入ってからドンと陽性者が増えました。1月から先週までの統計でだいたい小学生で30%の子どもたちが陽性になっています。中学生は15%ぐらい。2学期から学級閉鎖等、あるいは行事がある中で本当に頭を痛めているところです。そういった中で、今日、お集まりいただきました。コロナの中ですが、大切な会議ですので、1時間半と言う時間ですが、しっかりと皆さんから意見をいただきたいと思います。

まずはお礼を申し上げたいと思います。この4月から中竹野小、竹野南小、竹野小の三校が一緒になりました。とくに中竹野小校区の方、竹野南小校区の方は様々な思いがおりであったことと思いますが、子どもたちのことを第一に考えていただき、苦渋の決断をしていただき、統合という形に持って行っていただきました。竹野小校区の方についてもウエルカムということで、気持ちよく迎えていただきまして、子どもたちはいいスタートが切れたのではないかなと思います。

竹野小学校の学校日より、7月20日の夏休み前に出したものですけれども、このように書かれています。『今春の竹野3小学校の統合は子どもたちにとって大きな変化だったと思います。新しい生活に対するストレスもあったことでしょう。しかし、子どもたちはそれを乗り越え、共に仲良く過ごすことができました。これも保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。』こういうふうにあります。また、5月にアンケートを取っていただきました。子どもたちがどのように過ごし、どのように思っているのかについてです。子どもたちについて圧倒的に多かった意見は、友だちが増え、話したり遊んだりするのが楽しい、授業でいろいろな意見がでるのが面白い、できなかった遊びができるようになった。こんな声が聞こえてきていますし、特に男女比に隔たりがあった学年はとても喜んでいるという話を聞いています。ただし、保護者の声として、概ねご理解いただき肯定的な回答をいただいておりますが、友だちとうまく過ごせるか、集団生活に戸惑わないか、いじめにあわないか等、統合により環境が変わる事への不安の声もあげられていました。それから、教員の目が行き届かなくなるのではないかと心配の声もありました。不安や心配はもっともなことだと思います。そのような声に耳を傾けながら教職員には不安や心配を取り除けるよう、一生懸命取り組んでもらっているところです。それから、最も心配をしているのはバス通学です。長時間バスに揺られて、低学年の子どもはどうだろうかという事ですけれども、しっかりと様子を見ながら、適切な対応をしていきたいと考えています。

先生たちからも意見がでました。バスの時間で学校生活の時間を調整しますので、休み時間が圧迫される、もっと遊ばせてやりたいという声がありました。それを受けて、バス会社と協議をしながら、5分でも10分でもいいので帰りのバスの出発を遅らせて、休み時間を取らせてやりたいという旨の話をさせていただいて、2学期からはそういう対応ができるように考えています。今後も様々な課題が生じてくると思いますが、意見をいただきながら、対応できることから取り組んでまいりたいと考えています。

8月2日に本日と同じ会議を、保護者を対象に実施しました。そこでの意見を元にして、今日

は資料を加筆修正して説明をさせていただきます。

少しこれまでの経過を振り返っておきます。まずは2019年12月に保護者対象、翌年1月に地区の皆さんを対象として竹野小の整備の説明をしました。この時の説明は、竹野小学校が築60年を迎えて、改築又は長寿命化の検討をするために、専門家に老朽化度の調査をお願いしました。その結果、直ちに危険がある状態ではないものの、整備の対象であるという事でしたので、そのことについての詳しい情報提供と、そしてもし、整備をするとしたら2つの案が考えられるとして示しています。その一つが、竹野中学校の敷地に整備して、施設一体型小中一貫校とするというもの。もう一つが現在地に建替えるというものでした。その段階では、中竹野小学校区からも竹野南小学校区からも統合の要望書が出ていない段階での説明会でしたので、純粋に旧竹野小学校の子どもたちにとってという想定の見聞交換を行いました。しかしその後、市内では奈佐地区、港地区から統合の要望書が出されたことをはじめとして、小規模校で統合を考える動きが出てまいりました。そのために個別対応ではなく、市内全体で学校の適正規模・適正配置を考える審議会を2月3日に設置し、計7回、審議をいたしました。その間、審議会でもどのようなことを話し合われているかという、中間案についての見聞交換会を保護者と地域に9月と10月に行いました。審議会から答申が出された時にも、どのような答申なのかということについて、同じように説明会をしています。その後、答申を受けて、豊岡市教育委員会で計画を立てました。どんな計画なのかについての説明も竹野地区で行っています。そしていよいよ、昨年12月末に計画を策定し、そして今回、その計画についての説明を8月2日に保護者に行い、本日が地域の方となります。その間、中竹野小学校では2020年に要望書が、竹野南小学校では翌年2月に要望書がそれぞれ提出され、2021年4月26日から統合準備委員会を開催して計4回、委員会で様々な課題について対応を図りました。このように委員会ができ、3小学校が統合した段階で、今回、このような説明をしているという事です。若者会議のアンケートを保護者にさせていただいたようで、その中でこの（小学校の建て替えの）説明はどうなっているのかということがたくさん出されましたけれども、こういう経過で進めているということをご理解いただきたいと思います。

本日は、施設一体型小中一貫校の案を説明したいと思います。

10年前になりますが、豊岡市には3つの大きな教育課題がありました。一つは不登校の問題。小学校から中学校になる段階で、何倍にも不登校が増えるという問題でした。二つ目は、中学校にいったからですが、学力の二極化です。主体的に積極的に取り組む子とそうではない子との差が表れ始める。3つ目は特別に支援を要する子どもへの対応です。一つ目と二つ目については、小中ギャップと言われる段差が影響しているのではないかとということで、小と中の連携を始め、6年前から小中一貫教育を全市展開しました。具体的にどういうことかと言うと、段差をなくすために小中が共通した教育目標を持つ。それから、小学校と中学校で生活のきまりや学習のきまりがあまりにも違くと子どもたちが戸惑いますので、そういうことを協議しながら、系統性や連続性のある指導をするということ。それから授業が小学校と中学校では圧倒的に違いましたので、そのことを見合いながら、どんな授業をしたらいいのか。それから、これは学校によって違いますが、中学校の先生が小学校にあって、年にほんの数回ですが、乗り入れ授業を行う、そんなことをしながら、小学校6年生の中学校に入学する前の気持ちと、入学してからの気持ちはどうなのかということについて毎年アンケートをしています。一定の効果は出て来たのですが、しかし、

例えば出石でしたら、一つの中学校に対し小学校は5校です。日高東中でしたら、中学校一つに対し小学校は4校、そして豊岡小学校では中学校は北中と南中に分散して進学しますので、二つの中学校と7つの小学校が一貫教育を行うという極めて不効率というか、難しい状況で行われているということから、校区によって効果はまちまちでした。しかし今回、竹野では小学校は一つになりました。小学校が一つ、中学校も一つという施設一体型小中一貫校として進めるには最も適切な最も効果が出やすい環境になったと私たちは考えています。例えば中竹野や竹野南小の方たちが統合に賛成した背景には、この審議会以案を示していましたので、ゆくゆくは施設一体型小中一貫校ができるということを見通しながら賛成していただいたという声も聞いているところ

です。

この施設一体型小中一貫校には2種類ありまして、一つは従来通りの小学校と中学校があり、それぞれに校長や教頭もいる。その集団が施設一体になって教育をするというもの。もう一つは、義務教育学校といって校長先生は一人、教頭先生は三人で、一つの組織として一貫教育を行っていくというものです。後で詳しい説明がありますが、今、全国的にはこの義務教育学校が圧倒的に多くなっています。ここで最も特徴的な事は、今、小学校は6年、中学校は3年の6-3制の区分ですが、自治体の判断で4-3-2の区分、あるいは5-4の区分でできることになっています。6-3制は1947年戦後まもなくにできた制度設計です。75年経っていて、子どもたちはすっかり変わっている。思春期が2年早くなっている、当時は小学校6年生くらいから中学校1年生くらいが思春期と言われていましたが、今は5年生です。5年生で問題行動が多くなり、学力差が出てきたり、個人差も顕著に出てきています。6-3の制度設計は古いということで、1年生から4年生まで、5・6と中1、中2と中3、こういった区分で行うことが効果的ということで、今、義務教育学校が全国的に取り入れられています。4-3-2の区分になれば、1年生から4年生までは今やっているように学級担任が中心に教える、いろいろな差が出てくる5・6・中1については一つの区分として教科担任制にします。そこには中学校の先生がどんどん入って行って授業ができます。美術や音楽、体育、英語もできます。難しい期間ですから、副担任もつけながら、しっかりと子どもたちをケアしていくということも考えられます。8年生・9年生は高校受験を目の前にして主体的な学びができるような体制をつくっていく、そういったような構造になっています。もう一つの特徴は独自のカリキュラムができるということ。今、文科省が出しているような教育内容はもちろんするのですけれども、新たに義務教育学校でのカリキュラムが組めるという事です。今、おわかりのように授業時数はいっぱいです。日本の教育は学校教育に押し付けたらそれで学力が上がると思われているようで、欧米ではLess is Best といって、少なく教えて豊かに学ぶことが基本ですが、それができていなくて、ICT、プログラミングも入ってきますし、英語も入ってきて、道徳も教科になりました。これ以上コマ数を増やすことができませんから、今の授業数で多い、例えば国語や算数・数学の時間を取りながら、年間のカリキュラムを作って新しいことをする。全国を調査しますと、そういうふうに新たにカリキュラムを作っている中でも最も多いのが英語です。豊岡市では既に小1からしているのですが、9年間で1年生からずっとカリキュラム化してやっていて、例えば奈良市では9年生(中3)のほぼ全員が英検3級や準2級を取得しているという教育効果を得ていますし、鹿児島ではコミュニケーション科といって、豊岡でやっているコミュニケーション授業のようなものを行っている、お隣の鳥取県に鹿野学園という義務教育学校がありますが、ここは表驚科(あらわしか)といって、表

現活動をたっぷり行っている。ダンスや演劇、メディアでなにかを作ったりという表現活動を行っているところもあります。

多いのがふるさと科。竹野で言えば例えば『たけの科』を作るという発想です。それからICTでプログラミング教育に取り組んでいるところがあります。こんなことが可能性として考えられますが、あくまでも、このカリキュラムの編成権は学校、校長にありますので、竹野地域の子どもたちの良さ、課題、地域性、地域や保護者の期待と言ったものを踏まえながら、どのような特色のあるカリキュラムをしたらいいのか、1年あるいは1年半かけて協議をしていく必要があると思いますし、今は、可能性があるということしか言えません。

このことについても後で説明があると思います。もちろん、一貫校のデメリットもあります。

メリットもデメリットもどちらもありますが、メリットの方が明らかに多いであろうと私たちは思っていますので、そのことを案として示したという事があります。このことは教育ですから、人がするものです。学校や地域や家庭が、この小中一貫校を成功させるのだと、竹野の子どもたちを望ましい方向に育てていくのだという気持ちで、心をあわせてやっていかなければ、デメリットばかりが大きくなっていくということも考えられます。そういった意味で、今日はしっかりと理解していただいて、ご質問等もいただき、そういう時間にしたいと思います。よろしく願いいたします。